

## 京都大学大学院農学研究科附属農場利用要項

京都大学大学院農学研究科附属農場（以下「農場」という。）を教育、研究、社会教育（研修・見学・取材等）の目的で利用する場合は、本利用要項に基づき、利用許可を受けること。

### 第1 利用申請

1 農場の新規及び継続利用を希望する者は、原則として利用を希望する日の2週間前までに、農場利用申請書（様式1）を農場に提出すること。

なお、京都農場について、利用者は原則として学内に限るものとし、利用許可がおりた後、次年度以降教育または研究の継続利用を申請する場合は、京都農場継続利用確認書（様式4）を提出することができる。

2 学部学生・大学院生が利用する場合は、指導教員等が利用申請を行うこと。

3 カリキュラム掲載の実習等は、農場が指定する期日までに利用申請を行うこと。

4 データ・試料の利用を希望する者は、申請前に農場と打合せをすること。

### 第2 利用許可

1 利用申請書により内容等が適当と認められた場合、利用条件を付して申請者に対し利用を許可する。この時、農場長より利用許可証を交付するものとする。

2 前項の規定により利用許可を受けた者は、利用期間等を変更し、又は利用を中止しようとするとき、速やかに農場へ申し出なければならない。

3 次のいずれかに該当する場合は、利用が制限又は許可されないことがある。

(1) 利用内容や人数などが農場の教育研究に支障があると判断される場合。

(2) 教育、研究、社会教育利用のいずれにも該当しないと判断される場合。

(3) 研究利用において利用施設等がすでに他の研究によって利用されている場合。

(4) その他、農場長が適当と認めない場合。

### 第3 教育及び社会教育利用

1 教育利用では現地での責任者を明確にし、期間中の日程や宿泊等に関して農場と十分打ち合わせを行うこと。

2 教育及び社会教育の利用が終了した時には、すみやかに利用結果報告書（様式3）を提出すること。

3 農場の取材内容を公表する場合は、事前に農場の了解を得なければならない。また、公表後に公表物（書籍、新聞、映像等）を提出すること。

### 第4 研究利用

1 研究利用の場合は、利用申請時に農場利用申請書（様式1）及び農場研究利用計画書（様式2）を提出すること。

- 2 研究対象施設および植物体の管理は、利用者の責任において行うこと。
- 3 研究期間が1年以上にわたる場合は、農場が指定する期日までに農場利用申請書（様式1）を提出し、年度ごとに利用更新の手続きを行うこと。期日までに利用更新の申請がない場合は、研究利用が終了したものとする。
- 4 研究の成果を公表する場合は、事前に農場の了解を得なければならない。
- 5 研究の成果を卒業論文、修士論文、博士論文、学術論文、著書、報告書、記事等に公表した場合は、農場に成果品を提出しなければならない。

#### 第5 利用の制限

農場長は次のいずれかに該当する場合、利用許可の取消又は利用を中止させることができる。

- 1 利用者が農場の教育研究に支障を及ぼしていると判断される場合。
- 2 利用の目的、利用許可条件等から逸脱していると判断される場合。

#### 第6 原状回復

1 利用者は次のいずれかに該当する場合は、職員の指示に従い直ちに利用施設等を原状回復しなければならない。但し、農場長がその必要がないと認めたときはこの限りでない。

- (1) 利用許可が取り消された場合。
  - (2) 第4及び第5により研究利用が終了したものを見なされた場合。
  - (3) 研究期間が終了した場合。
  - (4) 研究内容の変更等により、元の施設等を使用しなくなった場合。
- 2 原状回復に必要な労力及び経費は利用者が負担しなければならない。
- 3 原状回復の意思がないと農場長が判断した場合は、農場において原状回復する。それにかかる経費は申請責任者が負担しなければならない。

#### 第7 休日の利用

休日（土曜・日曜・祝日・12月29日～1月3日及び本学が定めた休日）の利用は原則として認めない。

#### 第8 利用上の注意

- 1 申請等の受付時間は、休日以外の午前9時00分から午後5時00分までとする。
- 2 木津農場の利用者は入場の都度農場事務室にて、入場簿に所定の事項を記入すること。
- 3 宿泊を伴う利用は、別に定める「京都大学大学院農学研究科附属農場宿泊施設使用内規」により行うこと。
- 4 研究用資材等を設置する場合は、事前に農場の許可を得て職員の指示に従うこと。

#### 附 則

この要項は、平成28年6月16日から実施し、平成28年4月1日から適用する。

京都大学大学院農学研究科附属農場利用申請書

京都大学大学院農学研究科  
附属農場長 殿

申請日 平成 年 月 日  
申請（利用）責任者  
所属（研究室等）・職名  
氏 名 ㊟

下記のとおり（木津・京都）農場の（新規・継続）利用について申請いたします。  
（（ ）内は該当するものに○をして下さい。）

記

1. 利用目的と内容

目的： 研究 ・ 教育 ・ その他 （該当するものに○をして下さい。）  
内容： .....

- ※研究の場合は利用内容、対象作物名等を記入するとともに**研究計画書（様式2）**、利用希望場所を囲んだ**圃場図（別紙1（木津農場圃場図）または別紙2（京都農場圃場図））**を提出して下さい。
- ※教育の場合は科目名、開講時期、単位数、受講学生数と具体的な利用内容を記入して下さい。
- ※その他（研究、教育以外で使用する場合（見学・社会貢献等））の場合は、目的、所属・団体名、人数および具体的な利用内容を記入して下さい。
- ※京都農場を継続利用している分野は、様式1、2にかえて様式4（京都農場継続利用確認書）を提出することができます。

2. 利用期間

年 月 日（ ）（ 時 分）～ 年 月 日（ ）（ 時 分）  
（使用期間が1日程度であれば開始時刻と終了時刻を記入。）

3. 利用場所

(1) 木津農場

水田畑地圃場施設・果樹圃場施設・蔬菜圃場施設・花卉圃場施設  
その他（ ）

（該当するものに○をして下さい。その他の場合は具体的に記入して下さい。必要に応じ別紙1（木津農場圃場図）に利用場所を明示して下さい。）

(2) 京都農場

圃場番号（ ）  
その他（ ）

（別紙2（京都農場圃場図）の圃場番号を記入して下さい。その他の場合は別紙2（京都農場圃場図）に利用場所を明示して下さい。）

4. 連絡先

（申請（利用）責任者）  
所属・職名・氏名  
住所  
電話番号・Eメールアドレス

（利用者）※申請（利用）責任者と利用者（または利用者の研究室）が異なる場合  
所属・職名（学年）・氏名  
住所  
電話番号・Eメールアドレス

5. その他

貴施設の利用にあたり、以下の点を遵守します。

1. 入場および施設内での移動・見学箇所（範囲等）については当初計画通りとし、変更しません。
2. 施設内では秩序ある行動をし、万一、利用者に事故等が生じた場合は申請者の責任で処理します。
3. 利用者が貴施設に損害を与えた場合（施設・設備の破損、農作物の損傷等）は、申請者が賠償の責任を負います。
4. 当機関が貴施設の利用に関する情報発信を行う場合や、利用により得られた成果を公表する場合は、事前に農場と協議して了解を得ます。また、その成果物（学会発表要旨、研究論文、刊行物、パンフレット等）を提出します。

利 用 許 可 証

許可番号 本場 : 第 \_\_\_\_\_ 号

上記の申請について利用を許可します

平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 京都大学大学院農学研究科 附属農場長

## 研究計画書

### 1. 施設利用者

(1) 学生利用の有無 無 ・ 有 (いずれかを消去)

(2) 利用責任者 (実際に利用する者、学生利用の場合は指導教員)

所属・職・氏名：

連絡先・緊急連絡先：

(3) 利用学生(複数名の場合は、別紙(様式任意)に必要事項を記載して提出しても可)

所属・学年・氏名

連絡先・緊急連絡先

### 2. 施設利用目的(研究課題名、研究内容)

(1) 研究課題名

(2) 研究内容

### 3. 施設利用内容・計画

(1) 利用範囲(別紙1(木津農場圃場図)、2(京都農場圃場図))・利用機器

(2) 利用時期・日数・時間

(3) 利用方法

### 4. 施設利用により期待できる効果

### 5. 施設利用に関連する補助金等の有無とその名称

### 6. その他(試料の採取、搬入する機械・機器等)

なお、遺伝子組換え実験で農場を利用する場合、組換え DNA 実験実施許可を証明する書類のコピーを添付ください。

様式3

京都大学大学院農学研究科附属農場 利用結果報告書

京都大学大学院農学研究科  
附属農場長 殿

提出日 平成 年 月 日  
利用責任者  
所属・職名  
氏 名

下記のとおり（木津・京都）農場を利用しましたので、報告いたします。

（（ ）内は該当するものに○をして下さい。）

記

1. 利用目的と内容

2. 利用日時

年 月 日（ ）（ 時 分）～ 年 月 日（ ）（ 時 分）  
（開始年月日と終了年月日を記載。実施が1日程度であれば年月日と開始時刻および終了時刻を記載。）

3. 利用により得られた成果

4. その他（感想、要望事項等）

京都農場継続利用確認書（継続利用分野）

京都大学大学院農学研究科  
附属農場長 殿

提出日 平成 年 月 日  
利用責任者  
所属（分野）・職名  
氏 名

捺印省略

下記のとおり京都農場を継続利用しますのでお知らせいたします。

記

1. 利用目的と内容

目的： ① 研究 ② 教育  
※上記について、該当する番号に○をしてください。  
内容：

※研究の場合、当該分野で実施しているものは1枚にまとめ、代表的な2、3について研究テーマ、対象作物名を記入して下さい。他分野が利用している場合は、分野ごとに作成して下さい。  
※教育の場合は科目名、開講時期、単位数、受講学生数と具体的な利用内容を記述して下さい。

2. 利用期間

年 月 日 ( ) ( 時 分) ~ 年 月 日 ( ) ( 時 分)  
※開始年月日と終了年月日を記載。使用期間が1日程度であれば開始時刻と終了時刻を記載して下さい。

3. 利用場所

※当該分野が、研究で別紙2（京都農場圃場図）の分野圃場全体を使用している場合は、「○○分野圃場」と記入して下さい。教育の場合は、別紙2（京都農場圃場図）を参考に圃場番号を明記して下さい。圃場番号に該当しない場合にのみ、圃場図に使用場所をマークして、別紙2（京都農場圃場図）も提出して下さい。

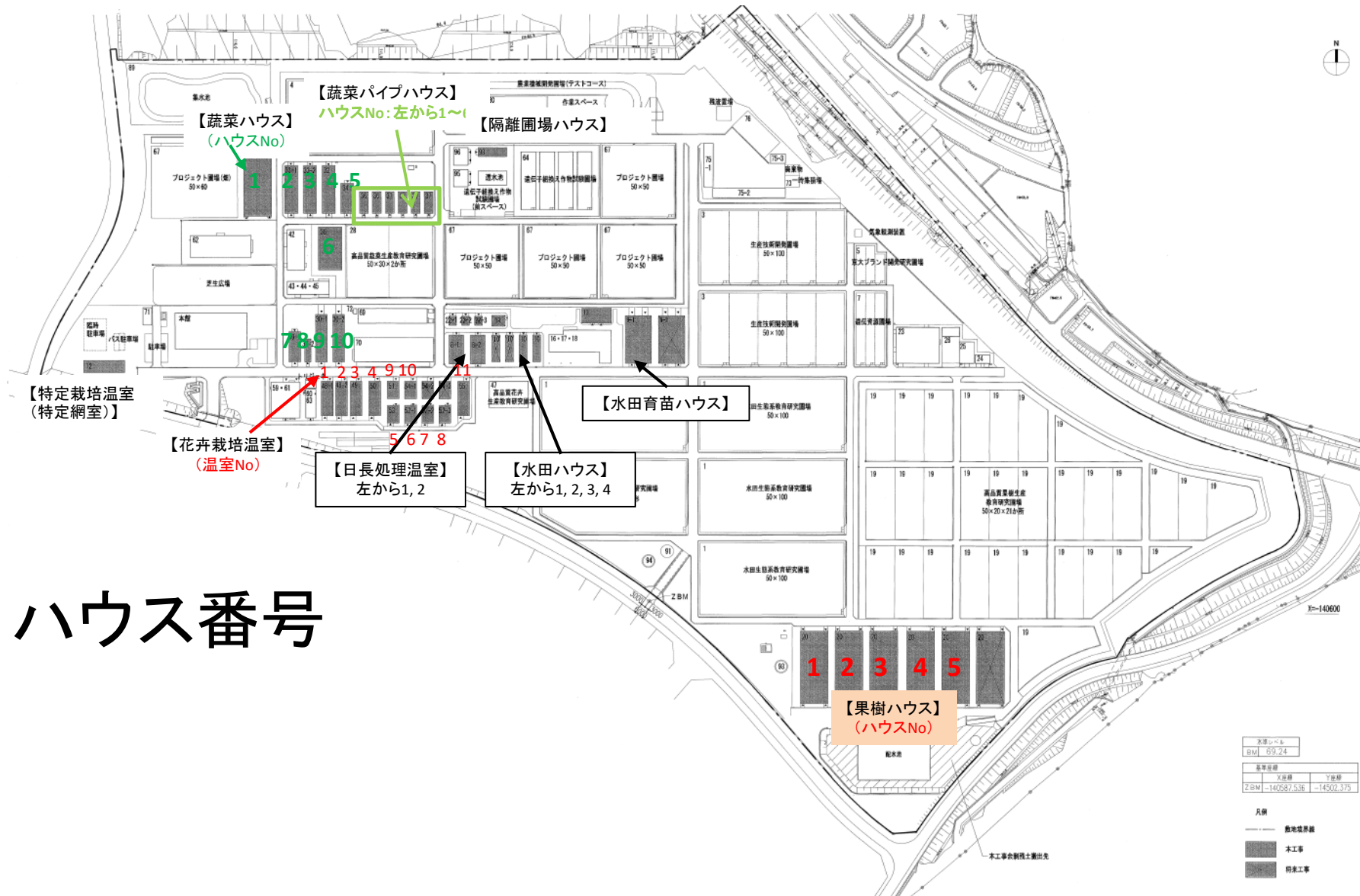
4. 連絡先

使用責任者  
所属（分野）・職名・氏名  
電話番号  
Eメールアドレス

利用者（実際の利用者が使用責任者の分野と異なる場合）  
所属（分野）・職名（学年）・氏名  
住所  
電話番号  
Eメールアドレス

※当該分野の研究の場合は、使用責任者には分野責任者を記入し、他分野が利用する場合は、使用責任者には当該分野の受け入れ責任者を、利用者には他分野の利用者を記入して下さい。

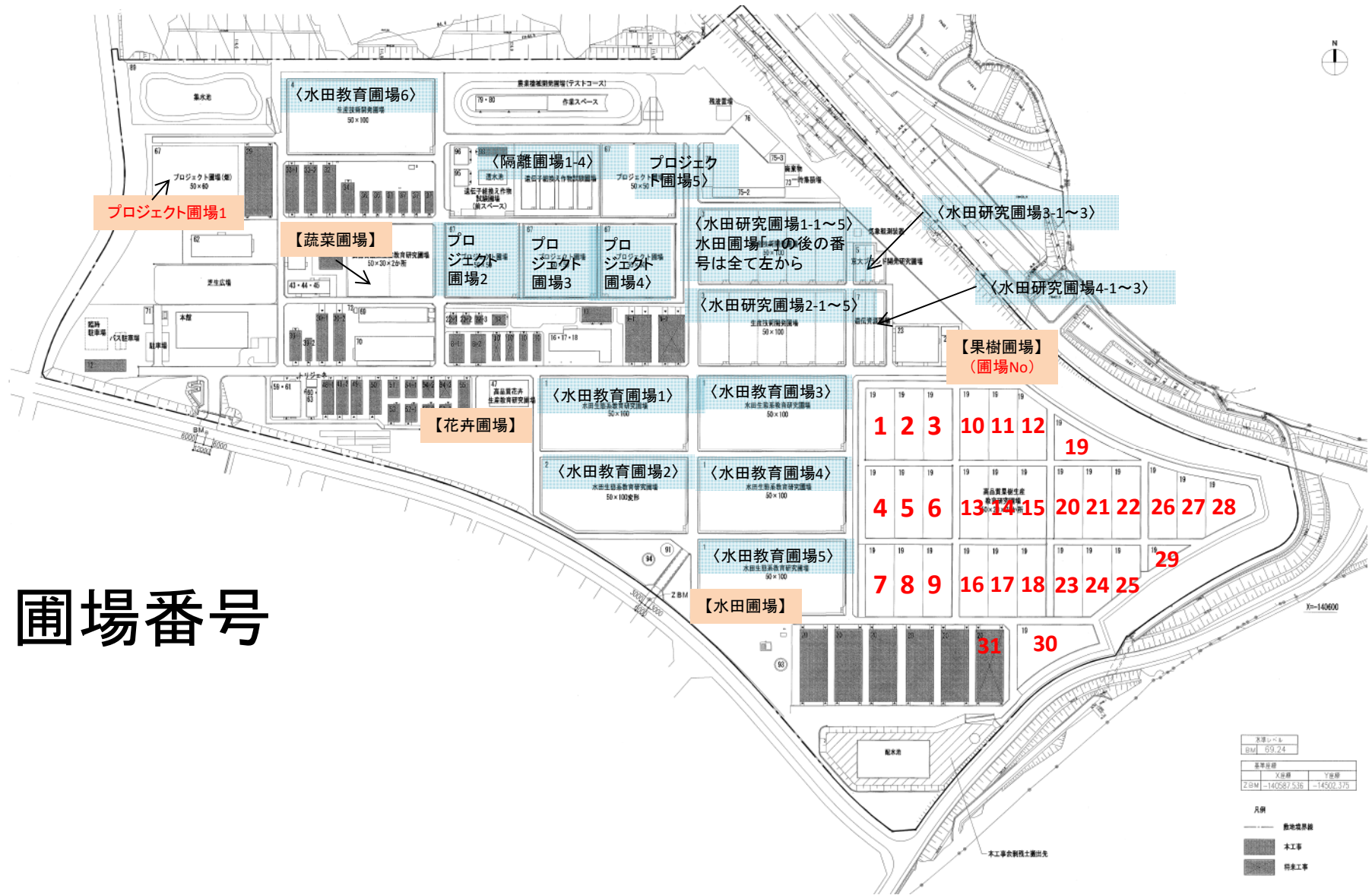
# 別紙 1 . 木津農場圃場図



## ハウス番号



# 圃場番号



# 別紙2. 京都農場圃場図

